

羽田名物、自家製「羽田プリン」 カフェエスぺースで ゆったり読書を楽しめる書店

Café&BAR UDUKI 羽月
羽田書店

Café&BAR UDUKI 羽月 羽田
書店(大田区羽田、安武祥吾社長、
03・3741・1817、営業時間
7時半〜21時、日曜日休日、[http://
ameblo.jp/syotentaisyou207/](http://ameblo.jp/syotentaisyou207/))

は、京浜急行空港線穴守稲荷駅前
で60余年、地域の皆様に愛されて
きた。たくさんの方が本に親しん
でもらいたいという想いから、平
成22年店舗の半分をカフェにし
た。お洒落にディスプレイされた
書店で好みの雑誌や書籍を購入
し、カフェでくつろぎながら読ん
だり、棚にある最新の雑誌や書籍
を閲覧したり、じっくり本と向き
合って貴重な時間を過ごすことが
できる。三世代にわたる蔵書も充
実、今では手に入らない本も多く
揃っている。また、店頭には本
も、ネットで注文し、お店で受け取
れば、送料・手数料も無料になる
e-hon加盟店でもある。

カフェでは、濃厚な味わいで神
奈川県相模原の名物となってい
る「昔の味たまご」を使用した「羽

田プリン
(大地)」
が人気
である。
なめらか
な口あた
りのプリ
ンは、
定番のカ
スタード
2種のほ
か、抹茶
ミルク、



季節限定フレーバーもお勧めの「羽田プリン(大地)」

チョコ、マンゴー、イチゴミルク、
ロイヤルミルクティーなど色々な
フレーバーが楽しめる。空港に行
く前に立ち寄ってお土産にする方
も多い、絶品スイーツである。近場
の有名ホテルと提携し、「プリン
付宿泊プラン」も実施している。

ランチタイムには近くで働い
ている人や地元の方が、午後にな
るとキャビンアテンダントや外
国人観光客、習い事帰りの方など
幅広いファンが集う同店では、ア
ルコールも提供している。昨年末
には、プロの演奏家を呼んだク
ラシックコンサートが好評を博
した。周辺の本屋と連携し、地元
ミュージシャンの処女小説の出版
を手助けして活動を支援すると
いった取組みも行っている。「本
屋に足を運んでいただき、関わっ
たさまざまな人の気持ちがあつた
本に囲まれて、エネルギーを蓄
えていただけたら、こんなに嬉し
いことはありません」と安武社長
は話す。